

ひとりのために
みんなのために

木更津公明NEWS

vol. 19
2012. 秋冬号

公明党木更津市議団は、9月定例議会において4日に住ノ江議員が代表質問を行い、老朽化した社会資本の整備と本市の小規模特認校の進捗状況と他4点について質問。7日には、渡辺議員が質問に立ち、特別支援教育、幼児言語教室に更なる支援強化を求めるよう訴えました。（他2点について質問）



県内の小規模特認校の授業風景
(注：本文とは関係ありません)

住ノ江雄次議員の代表質問では平成25年度経営方針から市民ニーズの的確な把握をどのような方法でされているのか？また、「質」の行政改革とは何を目指しているのか？と鋭く迫り、市の考えを聞き、数点を提案。次に防災対策、通学路の安全対策、給食の安全性を高め更なるの検査体制の強化を訴えました。さらには「特認校」の現状と進捗状況についても触れ、来年4月から導入予定であるとの回答を得ました。



(住ノ江議員)

続いて最終日に質問に立った渡辺厚子議員は、学校教育の充実を求め幼児言語教室の役割

と活動状況・現場の課題などについて質問。また、

特別支援教育については「どの学校でも何らかの支援が必要な児童が増えている」との現場の声に対する市の考えを聞き、スクールサポートティーチャーの増員などの具体的な支援策の推進を訴えました。更に、地域環境の改善については、**合併浄化槽普及の進捗状況**や**猫トラブルと保護**に関する市の対応を確認。浄化槽の維持管理費や猫の不妊去勢手術費の助成を行っている事例を紹介し、本市での実施を提案しました。



(渡辺議員)

市役所新庁舎の整備状況について...

現在の木更津市本庁舎は、昭和47年に建築された旧耐震建築物です。老朽化、耐震性に問題があり、更に狭隘化・分散化・高度情報化への対応、バリアフリー対応等において市民サービスや行政効率の低下を招いています。昨年、東日本大震災により、更なる機能低下を招き、震災後の耐震診断においてIS値が0.1弱～0.1強となり、現庁舎は耐震性が低く、倒壊・崩壊の危険性が高いとの結果がでました。抜本的な対策のため一日も早く新庁舎の建設を目指すことになり、6月に附属機関設置条例の一部を改正する条例を整備して市民公募・学識経験者等の10名で構成した庁舎整備検討委員会を設置しました。この委員会で庁舎整備の基本構想や基本計画の策定を調査、審議して必要な事項を市長に答申します。また、11月初旬に市民アンケートを実施。更には、明年1月頃にパブリックコメント(意見公募)を予定しています。

通学路の緊急合同点検結果と対策について

本年6月13日に市議会公明党として水越市長、教育長に通学路の安全対策に関する緊急要望書を提出しました。この夏、市内18の小校区において教育委員会・学校・道路管理者・木更津警察とで通学路の安全点検を実施したところ、77の要改善個所の報告がありました。この結果に基づき本市教育委員会では、77の危険個所について学校対策案・道路管理者対策案・警察対策案など各担当対策案をまとめ、市の管理対象個所については、9月度補正予算に交通安全施設整備事業費として1000万円を計上しました。公明党市議団としても、本9月議会の代表質問において「点検のための点検であってはならない。諸対策を迅速かつ計画的に実施されなければ意味がない」と力強く訴えました。





9月議会 渡辺厚子個人質問・答弁(要旨)

問 小学校入学前の本市の幼児言語教室は大変重要な役割を担っており、実際に成果を上げていると聞いている。現在の活動状況と課題は。

答 市内全保育園・幼稚園の年長児に言語検査の実施、通所幼児の言葉の指導、保護者会の開催、言語教室だより「ひまわり」の発行、教育講演会の開催等をおこなっている。課題としては、在籍幼児数の増加に伴い、現在利用している総合福祉会館の教室が手狭になり、また、指導・相談対応以外の職務に時間がとれない弊害も出てきている。

問 常勤職員の増員や、スペースの改善は図れないか。

答 今後の幼児の推移や、現在の指導・相談スペース等、庁内関係課との調整を図って検討したい。

問 特別支援教育の現在の支援体制と課題は。

答 殆どの学校で全校 10 名以上の支援を必要としている児童が在籍している。支援体制は、スクールサポートティーチャーの配置や、市巡回相談や教育相談活動を行っているが、支援の方法は個々の児童生徒の実態によって異なるため、できるだけ多くの職員で支援することが必要。

問 公共下水道未整備地区では、合併処理浄化槽の普及を推進しているが、浄化槽の維持管理費に助成を行っている自治体があるが、本市ではその予定はないか。

答 合併浄化槽は設置時に多額の費用がかかるため、まずは設置に対する補助を優先していきたい

問 地域の野良猫を減らし、トラブルや殺処分を減らすために不妊・去勢手術費の助成を行っている自治体が増えているが、本市では実施予定はないか。

答 市では検討していないが、県獣医師会で行っている助成制度(手術費に 5000 円)の活用を更にPRしていきたい。

♥ ご意見・ご要望を

お気軽にお寄せ下さい。

木更津市議会議員 **渡辺厚子**

住所：木更津市大久保 3-9-5

☎ : 0438-36-2669

<http://www.komei.or.jp/km/atsuko>

公明党移動法律相談(無料)

・12月25日(火)

君津生涯学習交流センター

2階(13:00~1件30分)

※相談ご希望の方は、事前に渡辺までご連絡下さい。

★9月から高齢者サービスの一部において対象者が拡大されました

①緊急医療情報キットの配布



65歳以上のみの世帯や
日中独居になる
65歳以上の人に

②緊急通報装置の貸与

65歳以上のみで生活している世帯の人に



※申請書を提出してから装置の設置までに2カ月程度かかります。
詳しくは高齢者福祉課23-2630へ



★議会提案がかたちになりました

①昨年の9月議会において、学校の暑さ対策として**ミストシャワーの設置**を提案。今夏5つの中学校(第一・第三・太田・畑沢・波岡)の校庭に試験的に設置されました。

今後は、暑さ緩和の効果を確認の上、全小中学校への設置を更に推進してまいります。

②昨年の12月議会において、障がい者の就労支援策として**福祉作業所の販路拡大のために、庁舎2階を販売場所として提供する**よう提案。

7月より2階の一部を「福祉スペース」として確保し、福祉作業所等がパン・岩塩・菓子・小物等の製品を定期的に販売できるようになりました。作業所等の方々の工賃向上のために提案しましたので、多くの方に利用して頂きたいと思っております。